

番 号 : 131076  
国 名 : ガーナ  
担当部署 : ガーナ事務所  
案件名 : 天水稲作持続的開発プロジェクト終了時評価調査 (評価分析)

### 1. 担当業務、格付等

- (1) 担当業務 : 評価分析
- (2) 格 付 : 3 ~ 4号
- (3) 業務の種類 : 調査団参团

### 2. 契約予定期間等

- (1) 全体期間 : 2014年1月上旬から2014年2月中旬まで
- (2) 業務M/M : 国内 0.50M/M、現地 0.70M/M、合計 1.20M/M
- (3) 業務日数 :

準備期間	現地調査期間	整理期間
5日	21日	5日

### 3. 簡易プロポーザル等提出部数、期限、方法

- (1) 簡易プロポーザル提出部数 : 1部
- (2) 見積書提出部数 : 1部
- (3) 提出期限 : 11月20日(12時まで)
- (4) 提出方法 : 専用アドレス(e-propo@jica.go.jp)への電子データの提出、または調達部受付(JICA本部1F)への書類の提出

※2013年10月2日以降の公示案件(業務実施契約(単独型)のみ)より、電子媒体による簡易プロポーザルの提出を試行導入します。提出方法等詳細については、JICAホームページ(ホーム>JICAについて>調達情報>お知らせ)をご覧ください。

### 4. 簡易プロポーザル評価項目及び配点

- (1) 業務の実施方針 :
    - 1) 業務方針の的確性 3点
    - 2) 業務方法の整合性、現実性等 6点
    - 3) 当該業務実施上のバックアップ体制 1点
  - (2) 業務従事者の経験能力等 :
    - 1) 類似業務<sup>注1)</sup>の経験 45点
    - 2) 対象国又は同近隣地域若しくは同類似地域<sup>注2)</sup>での業務経験 9点
    - 3) 語学力<sup>注3)</sup> 18点
    - 4) その他学位、資格等 18点
- (計100点)

注1) 類似業務 : 各種評価調査

注2) 対象国/類似地域 : ガーナ/全途上国

注3) 語学の種類 : 英語

### 5. 条件等

- (1) 参加資格のない社等 :

本調査の対象である技術協力プロジェクトにおいて専門家業務に携わった法人及び個人は本件への参加を認めない。
- (2) 必要予防接種 :

黄熱 : 入国に際してイエローカード(黄熱病予防接種証明書)が必要です。

### 6. 業務の背景

ガーナにおいては、都市部を中心に近年コメの消費が急速に拡大している。一方、国産米の供

給量は、近年徐々に増加してきているものの、国内消費量の60～70%を輸入米に依存せざるを得ない状況にある。市場競争力を有する国産米の生産・流通体制の強化は、外貨節約の面からも喫緊の課題となっている。

かかる状況を踏まえ、ガーナは国産米振興に資するマスタープラン策定を我が国に要請し、JICAは開発調査「コメ総合生産・販売計画調査」(2005年～2008年)を実施し、ガーナ国の稲作経営を3つの類型に区分した上で、類型ごとに複数の開発コンポーネントからなる総合開発プログラムを策定した。

ガーナは同結果を踏まえ、国産米の約80%は低湿地で半集約的に生産されていること、不安定な営農に依存する稲作農家への支援を通じて貧困削減への大きなインパクトを期待できることから天水稲作推進プログラムを優先的に実施することとし、その中核案件として「天水稲作持続的開発プロジェクト」を我が国に要請した。これを受け、JICAは、食料農業省をカウンターパート(C/P)機関として、2009年7月から2014年7月までの5年間の計画で本プロジェクトを実施中である。

本プロジェクトの目標は、「改良技術パッケージ」、「営農支援システム」及び「普及方法」からなる「持続的天水稲作開発モデル」を確立し、アシャンティ州及びノーザン州の稲作振興及びコメ生産の増大に寄与することである。現在、4名の長期専門家(チーフアドバイザー/耕地整備、稲作技術、普及、プロジェクト運営管理)により、対象郡(アシャンティ州5郡、ノーザン州4郡)において活動を実施している。

本プロジェクトでは、これまで14のパイロットコミュニティ(アシャンティ州8、ノーザン州6)において、改良技術パッケージの農家間普及を段階的に実施しており、2012年からは対象地域を拡大し、その数は両州で約196コミュニティになっている。

「改良技術パッケージ」の導入により、グループ農家が研修を行うモデル圃場におけるコメ単位収量はアシャンティ州5.4Mt/Ha、ノーザン州3.7Mt/Haに達し、個人の圃場でも推奨技術の適用と単位収量の増加が確認された。単位収量を増加させた農家には、コメの有利な値段での販売、または、取引コストを低減して販売し、農業所得を向上すると同時に、次雨季の耕作に必要な農業初期投入経費を貯蓄することを通じ、持続的な農業を可能たらしめることが期待されている。

## 7. 業務の内容

本業務従事者は、「新JICA事業評価ガイドライン第1版」に沿って、プロジェクトの協力について当初計画と活動実績、計画達成状況、評価5項目を確認するために、必要なデータ、情報を収集、整理し、分析する。

具体的担当事項は次のとおりとする。

### (1) 国内準備 (2014年1月初旬～1月中旬)

- ①既存の文献、報告書等(事業進捗報告書、業務完了報告書、調整委員会議事録、専門家報告書、活動実績資料等)をレビューし、プロジェクトの実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセスを整理、分析する。
- ②既存のPDMに基づき、プロジェクトの実績、実施プロセス及び評価5項目ごとの調査項目とデータ収集方法、調査方法等を検討し、監督職員とも協議の上、評価グリッド(案)(和文・英文)を作成する。また、現地で入手、検証すべき情報を整理する。
- ③評価グリッド(案)に基づき、プロジェクト関係者(プロジェクト専門家、C/P機関、その他ガーナ側関係機関、他ドナー等)に対する質問票(英文)を作成する。
- ④対処方針会議等に参加する。

### (2) 現地派遣 (2014年1月中旬～2月上旬)

- ①JICAガーナ事務所等との打合せに参加する。
- ②プロジェクト関係者に対して、「新JICA事業評価ガイドライン第1版」に基づいた評価手法について説明を行う。
- ③ガーナ側C/Pと協議した評価グリッドに基づき、事前に配布した質問票を回収、整理するとともにプロジェクト関係者に対するヒアリング等を行い、プロジェクト実績(投入、活動、アウトプット、プロジェクト目標達成度等)、実施プロセス等に関する情報、データの収集、整理を行う。

- ④収集した情報、データを分析し、プロジェクト実績の貢献、阻害要因を抽出する。
- ⑤国内準備並びに上記③及び④で得られた結果をもとに、他の調査団員及びガーナ側 C/P 等とともに評価5項目の観点から評価を行い、評価報告書（案）（英文）の取りまとめを行う。
- ⑥評価報告書（案）に関する協議に参加し、協議を踏まえて同案を修正し、最終版を作成する。
- ⑦協議議事録（M/M）（英文）の作成に協力する。
- ⑧現地調査結果の JICA ガーナ事務所等への報告に参加する。

(3) 帰国後整理期間（2014年2月上旬～2月中旬）

- ①評価調査結果要約表（案）（和文・英文）を作成する。
- ②帰国報告会に出席する。
- ③終了時評価調査報告書（和文）について、担当分野のドラフトを作成する。

## 8. 成果品等

業務の実施過程で作成、提出する報告書等は以下のとおり。

なお、本契約における成果品は（1）～（3）のすべてとする。

- (1) 評価報告書（英文）
- (2) 担当分野に係る終了時評価調査報告書（案）（和文）
- (3) 評価調査結果要約表（案）（和文・英文）

上記（1）～（3）については、電子データをもって提出することとする。

## 9. 見積書作成に係る留意点

本公示の積算を行うにあたっては、「JICAコンサルタント等契約見積書作成の手引き」(<http://www.jica.go.jp/announce/manual/guideline/consultant/quotation.html>)を参照願います。留意点は以下のとおり。

- (1) 航空賃及び日当・宿泊料等

航空賃及び日当・宿泊料等は契約に含む（見積を計上下さい）。航空賃については、成田・羽田（日本）-アクラ（ガーナ）間を計上のこと。

## 10. 特記事項

### (1) 業務日程／執務環境

#### 1) 現地業務日程

現地派遣期間は2014年1月12日～2014年2月2日を予定しています。

本業務従事者は、当機構の調査団員に9日間先行して現地調査の開始を予定しています。

#### 2) 現地での業務体制

本業務に係る調査団構成は、以下のとおりです。

- ア) 総括（JICA）
- イ) 協力企画（JICA）
- ウ) 評価分析（コンサルタント）

#### 3) 便宜供与内容

当機構ガーナ事務所及びプロジェクトチームによる便宜供与事項は以下のとおり。

- ① 空港送迎  
あり
- ② 宿舎手配  
あり
- ③ 車両借上げ  
全行程に対する移動車両の提供（機構職員等の調査期間については、職員等と同乗することとなります。）
- ④ 通訳備上  
なし

- ⑤ 現地日程のアレンジ  
現地ヒアリング調査のスケジュールアレンジならびに長期専門家及びC/Pの同行。
- ⑥ 執務スペースの提供  
食糧農業省アシャンティ州事務所及びノーザン州事務所内プロジェクトオフィスにおける執務スペース提供（ネット環境完備）

## (2) 参考資料

- 1) 本業務に関する以下の資料をJICA農村開発部畑作乾燥地帯第二課(TEL:03-5226-8440)にて配布します。
  - ・プロジェクトが作成した資料（アニュアルレポート等）
- 2) 本業務に関する以下の資料が当機構図書館のウェブサイトで公開されています。
  - ・プロジェクト概要 (<http://www.jica.go.jp/ghana/office/activities/project/04.html>)
  - ・事前調査報告書  
(<http://libopac.jica.go.jp/search/detail.do?rowIndex=1&method=detail&bibId=0000249607>)
  - ・PDM（最新版）
  - ・中間レビュー報告書  
(<http://libopac.jica.go.jp/search/detail.do?rowIndex=0&method=detail&bibId=1000008327>)
  - ・プロジェクト基本情報（ナレッジサイトトップ>プロジェクト情報>スキーム別&国別一覧>プロジェクト基本情報）

## (3) その他

- 1) 業務実施契約（単独型）については、単独（1名）の業務従事者の提案を求めている制度ですので、複数の業務従事者によるプロポーザルは無効とさせていただきます。
- 2) ガーナ国内での作業においては、機構の安全管理措置を遵守するとともに、十分な安全対策措置を講じてください。

以上